

守山まるごと活性化プラン検討委員会  
第4回 学区別会議（小津学区）

日時：平成25年10月15日（火）

19：30～21：30

場所：小津会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
  - 本日の進め方
  - 第3回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
  - 前回のふりかえり
  - 学区のまちづくりの取り組みを考える
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など



守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 小津学区 】

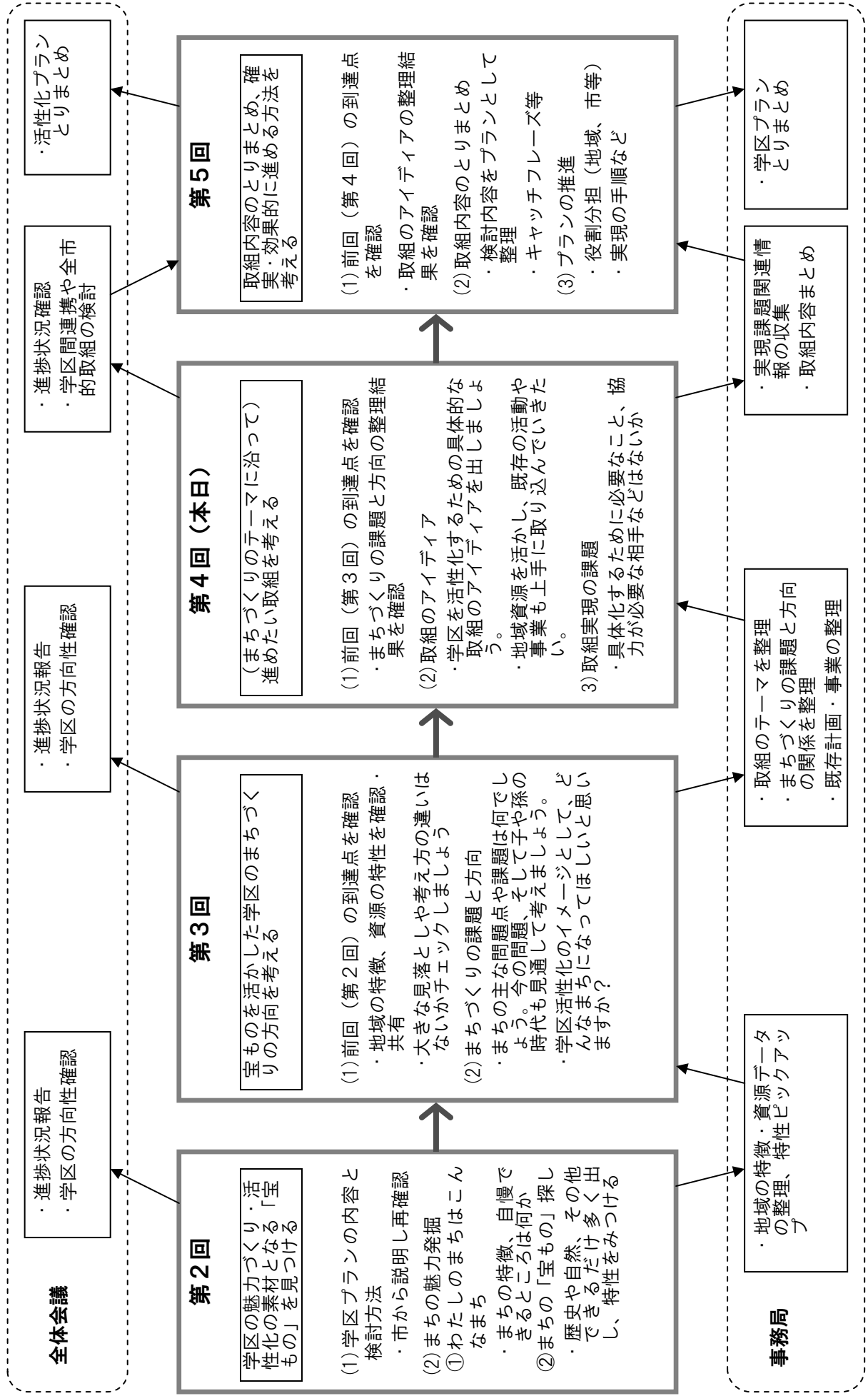
H250807 現在 敬称略

No.	自治会	名前		
1	金森	沢井 進一	さわい しんいち	男
2	金森	寺田 恭章	てらだ やすあき	男
3	金森	堀 家隆	ほり いえたか	男
4	三宅	三品 長一郎	みしな ちょういちろう	男
5	三宅	田中 昇治	たなか しょうじ	男
6	三宅	田中 健一	たなか けんいち	男
7	大林	中西 雅義	なかにし まさよし	男
8	大林	吉田 則夫	よしだ のりお	男
9	大林	木瀬 みよ子	きせ みよこ	女
10	欲賀	寺田 康夫	てらだ やすお	男
11	欲賀	奥村 正	おくむら ただし	男
12	欲賀	寺田 守	てらだ まもる	男
13	欲賀	池田 仁美	いけだ ひとみ	女
14	森川原	寺田 博重	てらだ ひろしげ	男
15	森川原	森田 好次	もりた よしつぐ	男
16	森川原	森田 廣	もりた ひろし	男
17	山賀	松村 茂	まつむら しげる	男
18	山賀	猪飼 博雅	いかい ひろまさ	男
19	山賀	堀尾 和子	ほりお かずこ	女
20	杉江	井本 滋美	いもと しげみ	女
21	杉江	杉江 清作	すぎえ せいさく	男
22	杉江	前田 智史	まえだ さとし	男
23	杉江	木村 正治	きむら まさはる	男
24	三宅稲葉	井上 猛	いのうえ たけし	男
25	三宅稲葉	村松 孝夫	むらまつ たかお	男
26	三宅稲葉	浜砂 秀紀	はますな ひでのり	男
27	金森山柿	神谷 一郎	かみたに いちろう	男
28	金森山柿	渡部 哲夫	わたべ てつお	男
29	金森山柿	神谷 ゆう子	かみたに ゆうこ	女

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・川上 肇
- ・坪内稔夫
- ・田淵誠一
- ・中島 勉
- ・吉原史雄
- ・倉嶋佑介
- ・中島史郎
- ・足立慎也
- ・貞松純子

# 学区別会議の進め方



# 守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

## 第3回 学区別会議 【小津学区】

平成25年9月9日（月）午後7時30分から小津会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第3回学区別会議を開催しました。

小津学区にお住まいの住民26名とともに、まず前回会議で出された学区の特徴や宝ものに関する意見について、大きな見落としがないかどうかなどふりかえりをしました。次に、学区のまちづくりを進めていく上での課題や方向性について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

### 学区別会議の様子

#### ■当日のプログラム

- ①挨拶：三品学区長より
- ②内容説明：会議当日のプログラム内容、第2回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、  
『学区のまちづくりの課題と方向』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲結果を発表してみんなで共有

### テーブル毎に小津学区の『まちづくりの課題と方向』について話し合いました



▲困っていることや、こうなれば良いと思うことなどを、皆で考えました。

- 4つのテーブルに分かれ、前回会議で出された小津学区の『良いところ』や『たからもの』の確認を行い、さらに、それらの特徴をもとに、『学区のまちづくりの課題』を話し合いました。
- 『たからもの』としては、長刀祭や千灯祭といった祭を、地域の行事としてだけでなく、受け継いできた歴史・伝統としても捉え活用してはという意見がありました。また、住民が気軽に集まることができるような機会を大事に守っていきたいという意見もありました。
- 『まちづくりの課題』については、「川や琵琶湖の環境の悪化」や「少子高齢化と人口減少」、「希薄化した人間関係の中でのつながりの確保」といった意見が各テーブルから多く上げられました。
- 『今後のまちづくりの方向性』としては、「水や琵琶湖に親しむことのできる環境づくりを」、「生成りで（本来のすがたのまま）できることから始める」、「多くの住民が楽しめるような伝統文化の受継ぎ方を考える」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が多く出されました。

## 守山まるごと活性化計画 学区別会議実施記録 第3回

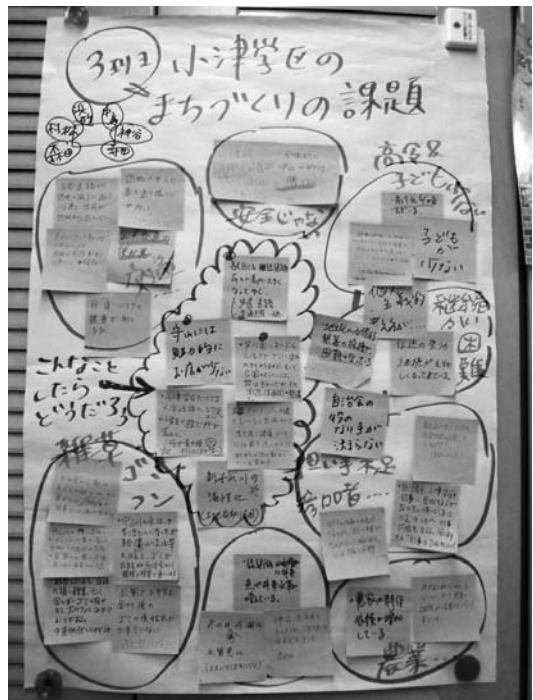
### 1. 実施概要

学区・回	小津学区 第3回
日時	2013年9月9日(月) 19:30~21:30
会場	小津会館
参加者	住民26人(金森3人、三宅3人、大林3人、欲賀4人、森川原3人、山賀2人、杉江2人、三宅稲葉3人、金森山柿3人) 守山市(川上、中島(史)、坪内、吉原) 地域未来研究所(田淵、貞松、倉嶋)
会場設営	4テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(三品学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日の進め方(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。</li> <li>・長刀祭や千灯祭といった祭を、地域の行事としてだけでなく、受け継いできた歴史・伝統としても捉え活用してはという意見があった。</li> <li>・住民が気軽に集まることができるような機会を大事に守っていききたいという意見があった。</li> </ul> <p>②学区のまちづくりの課題と方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。</li> <li>・学区が抱える問題点や課題について議論したところ、「川や琵琶湖の環境の悪化」や「少子高齢化と人口減少」、「希薄化した人間関係の中でのつながりの確保」といった意見が各テーブルから多く上げられた。</li> <li>・「水や琵琶湖に親しむことのできる環境づくりを」、「生成りで(本来のすがたのまま)できることから始める」、「多くの住民が楽しめるような伝統文化の受継ぎ方を考える」など、様々な意見が出された</li> </ul> <p>4. 結果の発表・共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル毎に参加者の代表が地域の課題、課題に対応するための方針について検討結果を発表し、全体で共有を図った。</li> </ul>

## 5. 次回の予定など

- ・次回会議の開催日時は、10月15日（火）19:30～小津会館とする。

### 第3回小津学区会議の様子



## 2. 第3回学区会議の意見まとめ

地域のまちづくりの課題やまちづくりの方向性をまとめる。

### <小津学区のまちづくりの課題>

#### ■川や琵琶湖の環境の悪化

ヨシが氾濫している。雨水が流れ、ゴミが多い。

整備され、身近な川ではなくなってしまった。

外来魚や外来水草が増加している。また、小津袋や赤野井湾内湖の水質が悪化している。

#### ■気軽に集まれる場所の減少

井戸端会議ができる場所が減ってしまった。

歩いて買い物に行ける場所がない。また、魅力的な施設もない。

#### ■公共交通の便が悪い

バスの運行が少なく、車なしでは団地の外へ出にくい。

#### ■交通量の増加や道路整備

交通量の増加に伴う、生活道路に侵入する車の増加。歩道幅が狭い箇所では特に危険が伴う道路標識や街灯が少ない。今後、琵琶湖側と守山駅側での地域格差拡大の懸念も。

#### ■子どもの遊び場の減少

球技場や広い場所など、人が集まれる場所が少ない。

遊び場が無いので、子どもを遊ばせないようになってきている。

#### ■少子高齢化・人口減少

子どもの数が減るとともに、高齢化が進行しており、担い手や学区全体の集いの数が減少している。

#### ■地域に対する考え方の変化

地域活動への積極性が薄れ個人主義的な考え方が増えつつあり、行事の存続・継続も危ぶまれている。

#### ■地域についての知識不足

歴史や地域環境、遺産等についての知識が無い。

#### ■地域の掃除・維持管理困難

公園や道路脇に雑草が繁茂しており、自治会の掃除のみでは対処しきれない。

#### ■農業の担い手不足

農業の後継者が不足している。

#### ■ホタルの生育環境の減少

常水の減少や、土や草の維持の問題から、自生環境は減少している。放流も上手く行かなかった。

#### ■祭の継続・伝承が困難

自治会単位で祭を世話していくことは難しく、どのように長刀祭を伝承していくかの検討が必要。



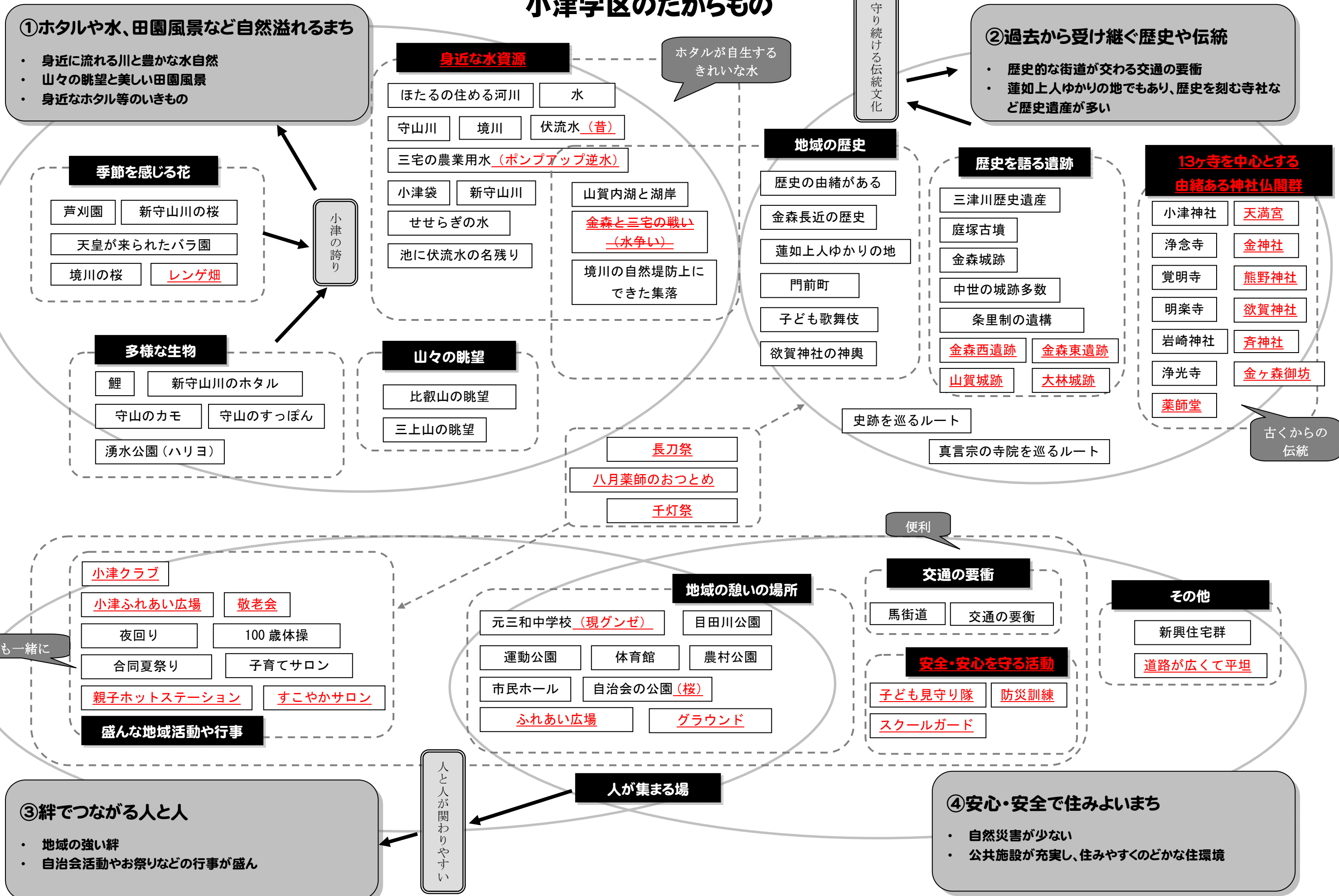
## 2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
川や琵琶湖の環境の悪化	<p>水不足。地下水等の確保。</p> <p>新守山川が汚い。雨水が流れる。ゴミが多い。</p> <p>川が大きくなり身近な河川になってない</p> <p>守山川の水はかなりきれいになったが、まだ濁っている。水草も生えてゴミがたまる。自治会の川掃除や除草で追いつかない。</p> <p>赤野井湾内湖の水質悪化（オオバナミズキンバイ）</p> <p>小津袋、赤野井湾の水の汚れ、ゴミの多さにはおどろいている</p> <p>町内の川は昔は水量豊かだったが、今は空川。環境が悪い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野洲川で子琵琶湖岸バスや水草を除去し親水性のある湖岸に</li> <li>○ 多様な生物が生息できる環境づくり</li> <li>○ 河道のヨシ・ヒシを除去しきれいな川に</li> <li>○ 新守山川の管理用道路を生かした自転車道の整備（健康づくり）</li> <li>○ 新守山川沿いに桜並木と憩いの場所とグラウンドゴルフ場（金森から山賀まで）</li> <li>○ ウォーキングコース</li> <li>○ 小津袋、芦刈園一体化。水生公園。遊歩道の整備</li> <li>○ 芦刈園はすいぶん良くなった、県外の方も見えるのもっと公園のようにしては。花はきれいだいが周辺（含道路）の整備を。</li> <li>○ 新守山川の活性化（土地有効活用）</li> </ul>
気軽に集まれる場所の減少	<p>若い人の集まれる場所がない</p> <p>井戸端会議の場所が減った</p> <p>歩いて買い物に行けるところがない</p> <p>守山には魅力的なお店が少ない</p> <p>交通量の増加・近道のため生活道路に入り込む車</p> <p>通学路の歩道幅が狭く危険</p> <p>地域によって街灯が少ない</p> <p>標識がない</p> <p>右折だまりがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グラウンドゴルフ場ももっと多く整備すべき。高齢者の健康づくりにはもっとも良いのでは。野洲川の河川敷まで行く必要あり。</li> </ul>
交通量の増加や道路整備	<p>道路は整備されているが、別ルートとして団地内を通り抜ける車両が多く、交通規制が必要。</p> <p>住民の増加に伴い交通量も増加。道路を横断するのに危険も増加。</p> <p>三津川河川公園が暗くて危ない、怖い。</p> <p>全体的に守山のまちは暗い</p> <p>主要道路が団地の周りに通っているため、住民が団地から出にくい</p> <p>団地の中への車の通り抜けが多い。ハンブはつけてもらった。</p> <p>県道沿線の歩道が必要。危険な箇所が多くあり設置をして交通安全に。</p> <p>夜間の車・バイクの騒音が気になる</p> <p>駅近くと琵琶湖岸との差が大きくなってゆく（歩道・道路・交通網他）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路構造など工夫</li> </ul>

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
公共交通の便が悪い	バス の運行回数が少ない。1本/1H程度 スーパー等商業施設が少ない 公共交通の便が悪い 東西のバス路線はあるが、南北に移動する公共交通機関がない 球技場、広い場所がない。注意される。 子どもが安心できる遊び場がない→子どもを遊ばさない 子どものあいさつができない 子どもの減少 介護問題 学区全体の集いの減少 高齢化の進行 子どもの減少 自治会員の高齢化。大林は特に。 高齢者のひとり暮らしが増加 役割を担える人材の減少 行事の継続・存続ができないかも 行事の継続ができないかも 全市民的に晩婚化、未婚男女が多い。昔の仲人の役割を担う。 高齢化により、災害時の避難が不安 高齢化が進んでいる 子どもが少ない 新興団地には同世代の入居になり年代が片寄る。造成を年代が片寄らないように小分けにしたら。 人が不足 自治会の役のなり手が決まらない 自治会の老人クラブの活性化が必要では 自治会や小津学区の行事に参加する人がだいたい決まってしまうている。 住民の意識の希薄化（特に伝統文化に対する意識） 役員のなり手が少ない現状 新旧住民の交流が必要 小さい子ども世代の子育ての体制が不安 住民の高齢化でボランティアが確保しにくい 高齢一人暮らしが多くなっている 30年ぐらい住んでいるが若い人が外へ出て行き、老人のまちなりつつある	○ 琵琶湖をいかす ○ 指導者がいて立ち上げれば ○ 健康づくり ○ 各集落に分家又は世帯分離がしやすくする農地の宅地化（人口を流出させない） ○ いろいろ行事内容を変える。簡単なもの。2時間以内。 ○ コミュニケーションがとれる人から進める ○ ホタルや祭をきっかけに
子ども遊び場の減少	バス の運行回数が少ない。1本/1H程度 スーパー等商業施設が少ない 公共交通の便が悪い 東西のバス路線はあるが、南北に移動する公共交通機関がない 球技場、広い場所がない。注意される。 子どもが安心できる遊び場がない→子どもを遊ばさない 子どものあいさつができない 子どもの減少 介護問題 学区全体の集いの減少 高齢化の進行 子どもの減少 自治会員の高齢化。大林は特に。 高齢者のひとり暮らしが増加 役割を担える人材の減少 行事の継続・存続ができないかも 行事の継続ができないかも 全市民的に晩婚化、未婚男女が多い。昔の仲人の役割を担う。 高齢化により、災害時の避難が不安 高齢化が進んでいる 子どもが少ない 新興団地には同世代の入居になり年代が片寄る。造成を年代が片寄らないように小分けにしたら。 人が不足 自治会の役のなり手が決まらない 自治会の老人クラブの活性化が必要では 自治会や小津学区の行事に参加する人がだいたい決まってしまうている。 住民の意識の希薄化（特に伝統文化に対する意識） 役員のなり手が少ない現状 新旧住民の交流が必要 小さい子ども世代の子育ての体制が不安 住民の高齢化でボランティアが確保しにくい 高齢一人暮らしが多くなっている 30年ぐらい住んでいるが若い人が外へ出て行き、老人のまちなりつつある	○ 琵琶湖をいかす ○ 指導者がいて立ち上げれば ○ 健康づくり ○ 各集落に分家又は世帯分離がしやすくする農地の宅地化（人口を流出させない） ○ いろいろ行事内容を変える。簡単なもの。2時間以内。 ○ コミュニケーションがとれる人から進める ○ ホタルや祭をきっかけに
少子高齢化・人口減少	バス の運行回数が少ない。1本/1H程度 スーパー等商業施設が少ない 公共交通の便が悪い 東西のバス路線はあるが、南北に移動する公共交通機関がない 球技場、広い場所がない。注意される。 子どもが安心できる遊び場がない→子どもを遊ばさない 子どものあいさつができない 子どもの減少 介護問題 学区全体の集いの減少 高齢化の進行 子どもの減少 自治会員の高齢化。大林は特に。 高齢者のひとり暮らしが増加 役割を担える人材の減少 行事の継続・存続ができないかも 行事の継続ができないかも 全市民的に晩婚化、未婚男女が多い。昔の仲人の役割を担う。 高齢化により、災害時の避難が不安 高齢化が進んでいる 子どもが少ない 新興団地には同世代の入居になり年代が片寄る。造成を年代が片寄らないように小分けにしたら。 人が不足 自治会の役のなり手が決まらない 自治会の老人クラブの活性化が必要では 自治会や小津学区の行事に参加する人がだいたい決まってしまうている。 住民の意識の希薄化（特に伝統文化に対する意識） 役員のなり手が少ない現状 新旧住民の交流が必要 小さい子ども世代の子育ての体制が不安 住民の高齢化でボランティアが確保しにくい 高齢一人暮らしが多くなっている 30年ぐらい住んでいるが若い人が外へ出て行き、老人のまちなりつつある	○ 琵琶湖をいかす ○ 指導者がいて立ち上げれば ○ 健康づくり ○ 各集落に分家又は世帯分離がしやすくする農地の宅地化（人口を流出させない） ○ いろいろ行事内容を変える。簡単なもの。2時間以内。 ○ コミュニケーションがとれる人から進める ○ ホタルや祭をきっかけに

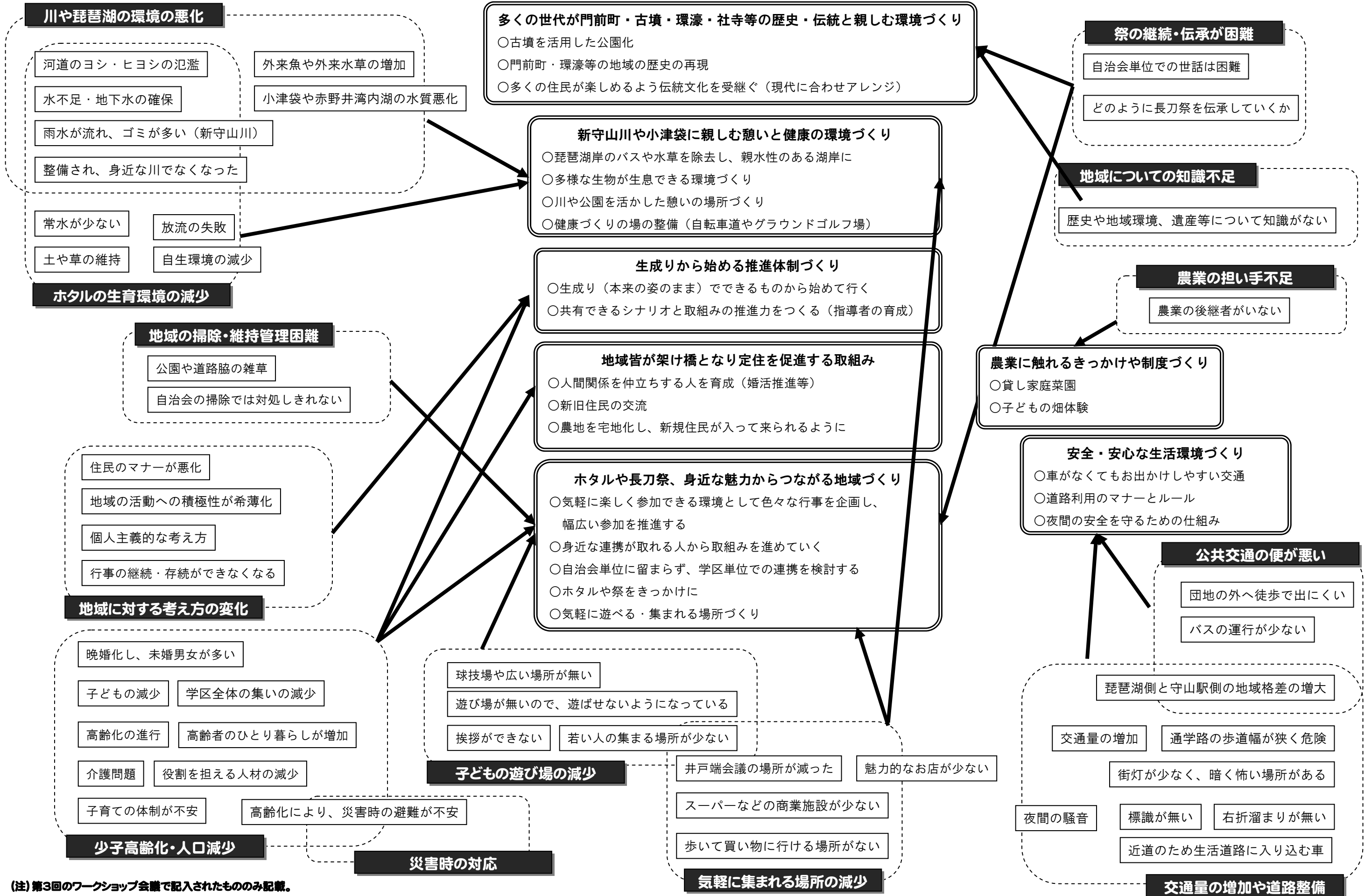
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
地域に対する考え方の変化	<p>散歩していると道路の端に雑草、そして田んぼにゴミの投げ捨て、犬のフンも見かけることがある。条例化はどうか。</p> <p>公園で弁当を食べた後のゴミの後始末ができていない。水も出しっぱなし。</p> <p>地域活動行事への参加が少ない</p> <p>自治会活動の意識の多様化</p> <p>地域の活動への積極性が希薄化</p> <p>マナーが悪化。犬の糞の処理をしない人が多い。</p> <p>個人主義的な考え方</p> <p>伝統の祭の継続が難しくなっている</p> <p>地域の由緒ある祭事の維持が困難になっている</p> <p>自治会の活動以外の学区の事業には参加が少ない時がある。福祉活動の分野。</p>	<p>琵琶湖博物館への水中路</p> <p>活動内容を工夫して改善すべき</p> <p>ニーズに合わせて実施</p>
地域についての知識不足	<p>小津の歴史や地域環境（川の経路）を知らないので、遺産やその他についての知識がない。</p>	<p>古くからの歴史を再現。古墳を活用した公園化。</p> <p>地域の歴史の再現。門前町、環ぼりの再生。</p> <p>地域資源の有効活用</p>
地域の掃除・維持管理困難	<p>自治会の公園は子どもが遊ばないから草だらけ。年2回の除草では間に合わない。</p> <p>守山川の横の道路のガードレールに草が茂って、団地からの出口の左右の見通しが悪く危険。年1回の除草では不足。</p> <p>農業の後継者がいない。水田は難しいが、畑は家庭菜園の希望者に提供できるシステムをつくれないか。</p> <p>農家の耕作依頼が増加している</p> <p>農業者の担い手が少なくなっており継続が難しくなっている</p> <p>放流活動は上手くいかなかった（欲賀）</p>	<p>子どもに畑の体験などできるかも</p>
農業の担い手不足	<p>ホタルの自生するせせらぎをつくったが水質が悪く、ホタルの発生は無理。</p> <p>子どもの水遊び場にしたら。</p> <p>ホタルが住める環境作り</p> <p>水は多くてもダメ</p> <p>土や草のある様な所を維持する</p>	<p>学区皆で取組レベル。地域に協力を頼む。</p>
ホタルの生育環境減少	<p>長刀祭の伝承方法</p> <p>各自治体単位の実施は困難</p>	<p>学区単位</p> <p>子供らが喜んで、気軽に参加できる環境</p> <p>現代文化に合わせてアレンジ</p>
祭の継続・伝承が困難	<p>今も残る悪習</p> <p>封建的な考え</p> <p>女性の社会進出</p> <p>住環境はよいが日常生活には不便である</p>	<p>シナリオ</p> <p>推進力</p> <p>生成りでできるもの</p>
その他		

# 小津学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。赤字は第3回会議での追加・修正意見

# 小津学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

# 第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回は小津学区を活性化する取り組みを考えます

## 第2回 小津学区の特徴とたからもの

### 特徴

① ホタルや水、田園風景など  
自然溢れるまち

② 過去から受け継ぐ  
歴史や伝統

③ 絆でつながる  
人と人

④ 安心・安全で住みよいまち

### たからもの

- **身近な水資源**
  - ・ 守山川、新守山川、境川、小津袋
  - ・ 過去の伏流水、山賀内湖、など
- **季節を感じる花**
  - ・ 芦刈園、桜（新守山川や境川）、
  - ・ レンゲ畑、バラ園、など
- **多様な生物**
  - ・ ホタル、カモ、鯉、すっぽん、
  - ・ ハリヨ、など
- **山々の眺望**
  - ・ 比叡山、三上山、など
- **地域の歴史**
  - ・ 蓮如上人ゆかりの地、門前町、
  - ・ 金森長近、神輿、歌舞伎、
  - ・ 長刀祭、千灯祭、八月薬師、など
- **歴史を語る遺跡**
  - ・ 金森城址、山賀城址、大林城址、
  - ・ 庭塚古墳、三津川歴史遺産、
  - ・ 金森西遺跡、金森東遺跡、など
- **13ヶ寺を中心とする寺社仏閣群**
  - ・ 小津神社、金森御坊、薬師堂、
  - ・ 浄念寺、岩崎神社、欲賀神社、
  - ・ 熊野神社、天満宮、など
- **盛んな地域活動や行事**
  - ・ 小津クラブ、ふれあい広場、
  - ・ 子育てサロン、すこやかサロン
  - ・ 合同夏祭り、など
- **地域の憩いの場所**
  - ・ ふれあい広場、グラウンド、
  - ・ 運動公園、市民ホール、
  - ・ 目田川公園、農村公園、など
- **安全・安心を守る活動**
  - ・ 子ども見守り隊、防災訓練、
  - ・ スクールガード、など
- **交通の要衝**
  - ・ 馬街道、など
- **その他**
  - ・ 広くて平坦な道路、など

## 第4回 小津学区活性化の取り組み

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！  
これは例です、参考にどうぞ。

**【活用するたからもの】**  
ホタル、守山川、桜 など

**【活性化の取り組み】**  
たからものを活かしたイベント等を企画し、自然とふれあいながら交流を行う。  
・ 水辺の生きものと遊ぼう  
・ イベントカレンダー、たからものマップ

**【活用するたからもの】**  
寺社仏閣群、地域の歴史

**【活性化の取り組み】**  
地域の歴史や伝統・文化を知り、もっと地域を好きになってもらう  
・ 歴史の語り部ツアー  
・ 寺で継続的にイベント等を開催し、地域で集まれる場として活用 など

第3回会議ではすでにこんなアイデアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

### <第3回会議で出して頂いた取り組み>

- ・ 古墳を活用した公園化
- ・ 門前町、環濠等、地域の歴史の再現
- ・ 住民が楽しめるよう伝統文化を受継ぐ
- ・ 多様な生物が生息できる環境づくり
- ・ 川や公園を活かした憩いの場所づくり
- ・ 健康づくりの場の整備
- ・ 共有できるシナリオの作成
- ・ 指導者の育成
- ・ 人間関係を仲立ち(婚活推進)
- ・ 気軽に参加できる行事の企画・幅広い参加推進
- ・ 身近にいる連携が取れる人から始める
- ・ 自治会に留まらず学区単位での連携を
- ・ 気軽に遊べる・集まれる場所づくり
- ・ 貸家庭菜園、畑体験 など

## 第3回 小津学区の課題とまちづくりの方向性

### まちづくりの方向性

新守山川や小津袋に親しむ憩いと健康の環境づくり

多くの世代が門前町・古墳・環濠・社寺等の歴史・伝統と親しむ環境づくり

ホタルや長刀祭、身近な魅力からつながる地域づくり

生成りから始める推進体制づくり

地域皆が架け橋となり定住を促進する取り組み

農業に触れるきっかけや制度づくり

安全・安心な生活環境づくり

### 課題

- **川や琵琶湖の環境の悪化**
  - ・ 小津袋や赤野井湾内湖の水質悪化
  - ・ 外来魚やヨシ・ヒヨシの氾濫
  - ・ 雨水が流れ、ゴミが多い
- **ホタルの生育環境の減少**
  - ・ 自生環境の減少
  - ・ 放流の失敗
  - ・ 水や草の維持
- **地域についての知識不足**
  - ・ 歴史や地域環境、遺産等について知識が無い
- **祭の継続・継承が困難**
  - ・ 自治会単位での世話は困難
  - ・ どのように長刀祭を継承していくか
- **地域の掃除・維持管理困難**
  - ・ 公園や道路脇に雑草
  - ・ 自治会の掃除のみでは対処困難
- **子どもの遊び場の減少**
  - ・ 遊び場がないので、遊ばせない
  - ・ 若い人の集まる場所が無い
- **気軽に集まれる場所の減少**
  - ・ 井戸端会議の場所が減った
  - ・ 魅力的なお店が少ない
- **少子高齢化・人口減少**
  - ・ 高齢者のひとり暮らしが増加
  - ・ 役割を担える人材の減少
  - ・ 子育ての支援体制が不安
- **地域に対する考え方の変化**
  - ・ 地域の活動への積極性が希薄化
  - ・ 個人主義的な考え方の増加
- **農業の担い手不足**
  - ・ 農業の後継者がいない
- **交通量の増加や道路整備**
  - ・ 近道のため生活道路に入込む車
  - ・ 街灯が少なく、暗く怖い場所
- **公共交通の便が悪い**
  - ・ 運行が少なく、団地外へ出にくい

(注) 第2,3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋